

科目名		コミュニケーション論			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		前期	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

人間関係を形成していくことは保健医療分野に携わるものとして基盤となる。そのために必要な基礎知識を習得し、実際のコミュニケーションスキルを身につける。

〔授業全体の内容の概要〕

主に「アサーション」についての基礎知識を理解する。また、自分自身を知る、感じる、他者の意見に耳を傾けることをアクティブラーニングの中で体験し学ぶ。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

授業での体験学習や日常場面での課題を通じて学生自身が自己を振り返り、対人コミュニケーションには何が必要かを理解する。またよりよいコミュニケーションスキルを身に着けること。

回数	講義内容
1	1章 コミュニケーションとは なぜ必要か 社会人基礎力とは
2	2章 基本的対話スキル 繰り返し・質問
3	2章 グループでの対話 グループディスカッション・発表
4	2章 メラビアン法則 ノンバーバルコミュニケーションの大切さ 人は見た目が9割
5	3章 自己分析 自己紹介
6	3章 自己表現 アサーティブ表現・アンガーマネジメント
7	4章 社会的スキル マナー問題・お礼状の書き方・電話のかけ方
8	5章 サービスマインド ホテルマンのサービスマインド参照
9	コースオリエンテーション/なぜアサーションを学ぶのか
10	自己開示とは。ジョハリの窓について
11	アサーションとは①;アサーションの3つの型
12	アサーションとは②;なぜ上手く自分を表現できないのか
13	アサーションとは③;非合理的思い込みについて
14	感情を上手に表現する
15	面接について
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

コミュニケーションスキルアップ検定テキストを事前に読む。授業中線を引いたところを復習する。日常生活で習ったことを実践する。

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
自分の気持ちをきちんと伝える技術	平木典子	PHP研究所
Hand-book of LIFE STYLE・コミュニケーションスキルアップ検定テキスト		滋慶出版
参考書;相手の気持ちをきちんと聞く技術	平木典子	PHP研究所

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験100点